



◀住民の医療ニーズに応えるための医療機器の充実をはかります。



▶21世紀への街づくりに  
ついて語る五十嵐市長。

**市民1人当り(408,026円)の歳出**

※一般会計歳出予算額(134億449万円)を人口(32,852人、3月1日現在)で割ったものです。

土木費 76,418円	民生費 63,410円	教育費 23,330円
総務費 17,387円	衛生費 15,135円	消防費 13,763円
商工費 11,859円	災害復旧費 6,326円	その他 180,398円

代のスタートの年で、新しい世紀に向かって連帯と協調のきずなを深めるため、各種事業の実施を計画しており、その一部についてお知らせします。

まず、従来から重点施策として取り組んでまいりました、公共事業の積極的な展開や生活関連事業の重点的整備を推進し、経済活動が活発に展開されるよう努めるとともに、快適な都市環境の形成にむけて着実な努力を重ねてまいります。また、二十一世紀初頭に訪れる長寿社会をすべての人びとが生きがいを持ち、安心して過ごせるような活力ある社会にするため、老人、子供、心身障害など弱い立場にある人びとに手を差し伸べ、特に、高齢者の保健福祉サービスの分野における基盤を早急に整備することが必要であり、そのための施策の充実を図ってまいります。

その他、本市をとりまく情勢は、なお、厳しく困難な課題が多くありますが、市民と行政との連帯感を深め、また、行政と民間の役割分担を明確にし、施策の選択と優先度に留意しつつ共通の認識のもと

に、うるおいとやすらぎのあを誇れるまちづくりのため全力をつくしてまいります。

それでは、予算の概要についてお知らせします。

**平成三年度の予算は  
総額一九五億五二九八万円**

この度の予算編成では、将来にわたり計画的な行財政運営をすすめる、最小の経費で最大の効果をめざす視点を貫きつつ、行政の効率化を目指す一方、限られた財源の効果的配分により、生活環境の向上、市民福祉の向上などに努める「第三期留明市総合計画」に基づき諸施策を中心に積極的に取り組みました。

その結果、平成三年度予算は、一般会計一三四億〇四四九万円、特別会計一九五億五二九八万円となり、前年度当初予算に比較して、一般会計で五・三パーセント、特別会計で一・七パーセント、総計で七・二パーセントの増となっています。

一般会計予算の歳入は、市政の根幹である市税が三億六九七九万円で、前年度当初予算と比較して一・四パー



**今月の特集**

**平成3年度予算と市政方針の概要**

**生涯を通じて健康でいきいきと暮しのできる福祉体制の確立を目指して**

明治十五年、この地に開拓の鉄が打ち込まれた留明市は、今年、一十四年を迎えました。本市は、道北圏の中核都市として、その果たすべき役割もますます高まってきており、留明海岸コースタル・コミュニティ・ゾーン整備計画をはじめ、数々のプロジェクトが進められています。

留明の目指す将来象は、市民一人ひとりが自然の恵みを受け、文化的、経済的豊かさの中で、うるおいとやすらぎのある生活を送ることができ、街、すなわち「海と大地に未来を創造する都市」です。

さて、本年は、二十一世紀を最近かに迎える一九九〇年

平成三年第一回定例市議会が三月七日から開催され、初日の本会議上、五十嵐市長が市政運営や主要事業について市政方針を述べました。この方針に基づいた新年度の予算は、市議会最終日の二十日可決されました。

そこで、今月号ではこれらの概要についてお知らせします。